

2017年9月6日  
日本郵便株式会社

JPタワーが東京都環境確保条例に定める「トップレベル事業所」に認定

日本郵便株式会社は、東日本旅客鉄道株式会社および三菱地所株式会社とともに所有、運営しているJPタワーが東京都環境確保条例に定める優良特定地球温暖化対策事業所（以下「トップレベル事業所」）に認定され、この度、東京都知事から認定証を授与されましたので、お知らせします。

本制度は東京都環境確保条例に基づき、東京都が「地球温暖化対策が特に優れた事業所」に対して認定するものであり、2016年度においてはJPタワーを含む9事業所がトップレベル事業所に認定されました。

JPタワーは1931年に竣工した東京中央郵便局の局舎を一部保存・再生して開発された、日本郵便株式会社にとっての大規模不動産開発第1号物件で、入居者の快適性や商業施設としての華やかさを追求するとともに、多くの環境配慮設備を採用した環境配慮型ビルです。

運営面においては入居者に対する省エネ協力依頼と啓発を進める「省エネ関係会議」を定期的に行うなど、竣工後も事業者・管理者・入居者が一体となって省エネを意識した取り組みを行っています。

日本郵便株式会社では今後も地球環境や地域社会、そこに生活する人々の豊かな未来を見据えながら、所有する不動産の新しい価値の創造を目指してまいります。

※「トップレベル事業所」および「JPタワーの環境配慮設備」の概要は別紙をご覧ください。



認定証贈呈式の模様

以上

### 「トップレベル事業所」の概要

東京都は、温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度（キャップ&トレード制度）において、地球温暖化対策が特に優れた事業所を、トップレベル事業所、準トップレベル事業所に認定しています。

認定にあたっては、CO<sub>2</sub> の削減や地球温暖化対策に関する 200 以上の項目につき評価され、トップレベル事業所に認定された場合、削減義務率は 1/2 に軽減されることとなります。

### 「J Pタワーの環境配慮設備」の概要

1931 年に竣工した東京中央郵便局の局舎を一部保存・再生して開発された「J Pタワー」では、数多くの省エネルギー技術を採用しています。

オフィスフロアにおいては、外皮性能を高めるため、窓上部に日射遮蔽庇を設置し、外壁側に高性能 Low-E ガラスを採用しています。室内側にもガラスを設け、日射熱で暖まった空気を上部から排気するエアフローウィンドウを構築しています。また、窓面下部にある自然換気窓の開閉（中央制御）による自然換気が可能であり、LED 照明（調光制御可能）や太陽光追従制御式ブラインドを備えています。

商業施設「KITTE（キッテ）」においては、太陽光を透過し、かつ、発電するシーソー型の太陽光発電パネルをアトリウム上部トップライトガラスに組み込んでいます。さらに、トップライト部側面に備えた自然換気システムにより、機械力を使わない換気が可能です。

さらに、KITTE 6 階の屋上庭園「KITTE ガーデン」は丸の内の高層ビルや東京駅赤レンガ駅舎を見渡せ、多くの皆様にご利用いただいているスポットですが、憩いの場としても利用できるよう、芝生・低木整備を行うなど緑化にも積極的に取り組んでおり、2014 年には「SEGES（社会・環境貢献緑地評価システム）：都市のオアシス（※）」に認定されました。

（※）公益財団法人 都市緑化機構が認定する“快適で安全な都市緑地を提供する取り組み”のこと。

### <建物概要>

所在地：東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 2 号

敷地面積：約 11,600 m<sup>2</sup>

延床面積：約 212,000 m<sup>2</sup>

階数：地上 38 階、地下 4 階、塔屋 3 階

高さ：約 200m

事業主：日本郵便株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、  
三菱地所株式会社



J Pタワー外観